

トラフィッキング啓発ワー クショップ 概要

微かなサインを、見逃さない。

1. はじめに
2. 目的
3. コンセプトと内容
4. 効果
5. 団体概要と実績

ポラリスプロジェクト・ジャパン

〒150-8691 東京都渋谷郵便局 私書箱7号

Phone 050-3496-7615

Fax 020-4669-6933

HP www.polarisproject.jp

Eメール Info@PolarisProject.jp



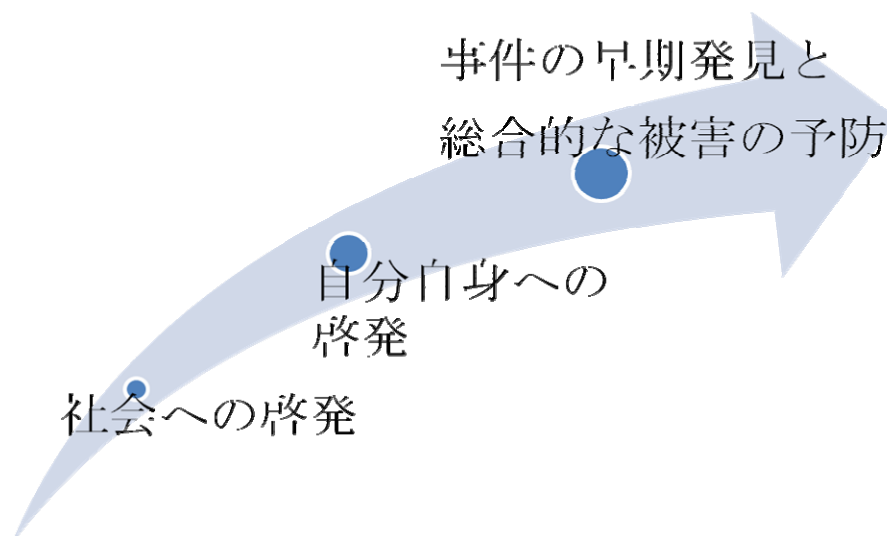
POLARIS PROJECT
FOR A WORLD WITHOUT SLAVERY

はじめに

「人身売買(トラフィッキング)」というと、どこか遠い国で起こっている出来事のように思われがちです。しかし、実はこの日本でも、都市部・地方を問わず全国的に発生している犯罪であり、その被害に苦しむ人々も、年々増え続けています。また、人身売買という形で不当に取引された人々の行く末も様々です。性産業に従事させられる人もいれば、低賃金または無給という状況下で、不当な強制労働を強いられる人もいます。被害者は女性が大半を占めますが、男性である場合もあります。子供や未成年も多く被害に遭っています。

また、人身売買の被害者と言えば、アジア諸国などからの女性が大半ではないかという認識もありますが、実は国内で日本人の女性や少女がほんの小さなきっかけで被害に遭うケースが増えています。そのきっかけは、街頭スカウトであったり、恋人と思っていた男性からの斡旋であったりなど様々ですが、どれも10代や20代にとって身近なものばかりです。このように、人身売買の被害に遭う危険性は、地域の学生や子供たち、女性たちにとってより深刻なものです。今、この問題に関するきちんとした教育と対策が求められています。

1. 目的



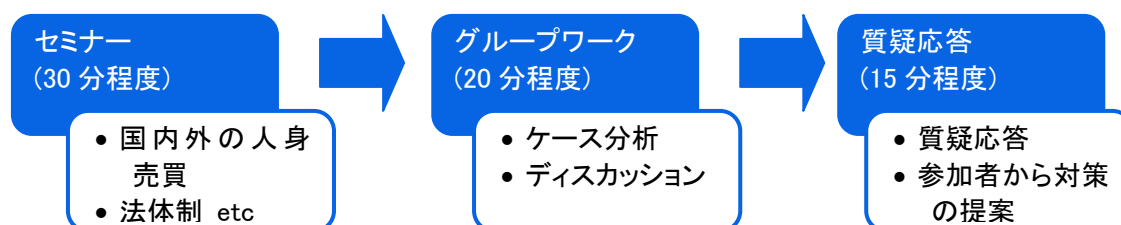
私たちのワークショップの目的には、ふたつの柱があります。それは、人身売買に関する正しい知識をつけてもらう事によって、

1. 地域に潜む人身売買被害の発見につなげる
2. 学生の友人や回りの若者に伝えていける学生たちに啓発することで、予防につなげるという二点です。

この二本の柱によって、地域における人身売買の発生を総合的に防ぐことが出来ます。

3. コンセプトと内容

主に学生と地域の方々を対象とした体験型のワークショップとなります。まず約 20 分程度のセミナーで人身売買に関する知識を学んでいただきます。ここでは、国内の人身売買の事例や問題点、人身売買にまつわる国内外の法体制などについてお伝えします。セミナーで人身売買に対する知識をつけてもらった後で、グループワークに移ります。これは国内で実際に発生したケースを用い、事件と人身売買の特徴をグループで分析し、討論していくものです。その後、質疑応答に移り、実際にケースを扱い議論を重ねていただいた上で生まれた疑問や質問などを受け付けます。また、プログラムの全体時間は 50 分弱から 1 時間半までと開催先に合わせて事例数やセミナーの内容を調整可能です。さらに、社会福祉にまつわる面からのセミナー、女性学や法学の面からセミナーを組み立てることも可能です。



4. 効果

一方的にこちらから情報を発信するだけのセミナーではなく、参加者の皆様に実際に五感や体や頭脳を働かせて考えてもらうワークショップなので、参加者の皆様にはこの問題に対する知識と正しい情報を身につけていただけます。それが、地域における被害の早期発見・撲滅につながり、また、参加者の皆様ひとりひとりが自分自身の周りで起きるかも知れない被害を予防するきっかけにもなります。

人身売買の被害が多発する繁華街において、教育機関や施設が地域と連携し、率先してこの問題に取り組めば、この問題の解決への最大の近道となります。

* 当ワークショップに関するご質問やご要望は:

ポラリスプロジェクト

050-3496-7615 Fax: 020-4669-6933

企画担当: 飯島・宮平まで Eメール: Info@PolarisProject.jp

また、当イベントはポラリススタッフとボランティアが内外から研修を受け開発した無償のセミナーです。この大切な啓発活動を、協力/後援/協賛/助成といったかたちで参加していただける団体・企業様も募集しています!

5. 団体概要と実績

ポラリスプロジェクトは、「奴隷制の再来」と呼ばれるトラフィッキング(人身売買もしくは人身取引)をなくすために、被害にあった人々の支援や草の根からの啓発活動を行っています。被害者の本来の強さと尊厳を取り戻すため、またトラフィッキングという犯罪を日本からなくすために日々活動しています。

ポラリスプロジェクトの主な活動内容:

多言語ホットライン

日本国内における人身売買被害者や関係者のための無料の相談電話(ホットライン)の運営。無料相談サービスで日本語、韓国語、英語を主に、タイ語でも受けつけている。2005年にホットラインを開設して以来、460件にも及ぶ電話相談やメールによる相談が寄せられている。

アウトリーチと相談者へのサービス

被害者層への情報提供のための、多言語アウトリーチの資料の開発と広報。現在まで、国籍を問わず人身売買被害者の支援を行う。ポラリスプロジェクト提供のサバイバー支援には①ケースマネジメント②危機介入③緊急時の保護・衣類や食料の提供④国内での移動手段提供⑤翻訳・通訳サービスのサポートなどがある。

人身取引対策勉強会

ポラリスプロジェクトでは各国大使館協力の下、より積極的なNGO、各国大使館、警察間の協力関係を築き上げるため、人身取引対策勉強会を催している。

福祉関係者への啓発

男女共同参画センター横浜との共同事業として、人身売買問題に関わる社会福祉機関や警察・NGO向けのハンドブックを執筆。冊子は人身売買についての支援者のための手引書で、被害の複雑性と文化の多様性をとらえ、よりよい支援のかたちを提示し役立ててもらうために製作された。現在新たに助成を頂き、第二版を製作中。

人権擁護活動の推進

一般市民、学生、専門家と共に、日本における人身売買問題の啓発活動の実施。
ワークショップ・勉強会—警察庁、EIS文化フォーラム
参加—衆議院議員主催の勉強会、被害者救済に関する国際専門家会議、在日大使館主催の人身売買対策会議、日本公認会計士協会勉強会、かながわあーすフェスタ、アースデイ千葉
講演—上智大学、テンプル大学、桜美林大学
 NPO World Smart 教育プログラム、
 米国ホフストラ大学

ポラリスプロジェクトのパートナー:平成18年度、(財)男女参画センター横浜からの助成金のほか、日本オラクル有志の会、ボディショップ基金、(株)キャピタルサービスグループ、(株)セルスフォース・ドットコム、在京米国商工会議所、そして個人の皆様からの寄付とサポートにより活動を続けています。